

クレジット決済システム

接続仕様書

Ver,3.0.14 (last update : 2024/10/03)

変更履歴

バージョン	リリース日	内容
3.0.0	2018/06/27	新版作成
3.0.1	2018/07/06	6.2 パラメータ名の修正
3.0.2	2018/08/01	5.2 セキュリティコードの説明を修正
3.0.3	2018/08/07	6.2 sicd1の文字種(桁)を修正
3.0.4	2018/10/12	5.4 resultCodeの内容を修正。000から0に変更
3.0.5	2019/07/05	15章 ワンタッチ更新のパラメータを修正
3.0.6	2019/08/09	5.3 コールバックのリザルトの表の記載を修正
3.0.7	2019/11/15	5.5 トークンの有効期限を変更
3.0.8	2019/11/25	決済結果の返信方法を修正
3.0.9	2020/02/10	17.2 転送時に付加するパラメータを修正
3.0.10	2020/09/04	仮売⇒実売できる最大期間60日へ変更
3.0.11	2020/11/19	6章、9章、14章 パラメータ(actp1、acdc1、acmc1、acrd1)の説明を修正
3.0.12	2021/02/08	全体からカード関連パラメータを削除
3.0.13	2021/12/15	「id」「pw」「cmd」のパラメータに説明文言を追加
3.0.14	2024/10/03	住所関連パラメータ、エラーの説明を追加

目次

1章 はじめに	6
1.1 本ドキュメントについて	6
1.2 著作権と免責事項【重要】	6
1.3 パラメータ表の見方	6
1.4 開発を始める前に	6
1.5 コントロールパネルへのログイン	6
1.6 接続のための記述例	7
2章 決済システムとの接続方式	8
2.1 接続方式1 リンク方式	8
2.2 接続2 ゲートウェイ方式	10
2.3 接続方式3 トークン方式	11
3章 クレジット決済手順	13
3.1 手順	13
3.2 クレジットカード決済のジョブ種別	14
3.3 各パラメータのフィールド名	15
3.4 外貨建て決済の通貨単位について	15
4章 テストモードについて	16
4.1 テストモード概要	16
4.2 免責事項【重要】	16
5章 カード情報のトークン化	18
5.1 概要	18
5.2 JavaScriptメソッドのリファレンス	19
5.3 コールバックのリザルト	20
5.4 コールバックのリザルト内のresultcode	21
5.5 トークンの有効期限	23
6章 仮売上/仮実同時 (AUTH / CAPTURE)	24
6.1 概要	24
6.2 パラメータ	24
6.3 仮売上についての免責事項	27
7章 実売上 (SALES)	28
7.1 概要	28
7.2 パラメータ	28
8章 有効性チェック (CHECK)	29
8.1 概要	29
8.2 パラメータ	29
9章 自動課金情報登録 (ADDAC / ADDAC2)	31
9.1 概要	31
9.2 パラメータ	31

10章 自動課金情報変更 (CARDCG)	35
10.1 概要	35
10.2 パラメータ	35
11章 自動課金情報変更処理後の結果通知	38
11.1 概要	38
11.2 パラメータ	38
11.3 サンプル	39
12章 自動課金停止 (ACSTOP)	40
12.1 概要	40
12.2 パラメータ	40
13章 自動課金停止処理後の結果通知	42
13.1 概要	42
13.2 パラメータ	42
13.3 サンプル	43
13.4 注意点	43
14章 ワンタッチ課金/仮売 (ONETOUCH / ONETOUCHAUTH)	44
14.1 概要	44
14.2 パラメータ	44
14.3 対象ジョブ	47
14.4 有効期間	47
15章 ワンタッチ更新 (ONETOUCHCHG)	48
15.1 概要	48
15.2 パラメータ	48
16章 取消 (CANCEL)	51
16.1 概要	51
16.2 パラメータ	51
17章 決済完了後の転送	52
17.1 概要	52
17.2 転送時に付加するパラメータ	52
17.3 サンプル	52
17.4 転送時パラメータについての免責事項【重要】	53
18章 決済結果通知	54
18.1 概要	54
18.2 決済結果通知パラメータ	54
18.3 自動課金結果通知パラメータ	55
18.4 サンプル	56
18.5 注意点	57
18.6 保存すべきパラメータ	57
18.7 自動課金停止の通知	57
18.8 自動課金のリトライ	57

1章 はじめに

1.1 本ドキュメントについて

本ドキュメントはHTML,HTTPプロトコルを理解する開発者を対象に作成した、株式会社ユニヴァ・ペイキャスト（以下「当社」）が提供する「クレジット決済サービス」の接続仕様書です。

1.2 著作権と免責事項【重要】

本ドキュメントの内容は著作権で保護されており、本書の内容の一部または全部を当社の同意なしに複写、複製および転載することを禁じます。

本書の内容は予告なしに随時更新されることがあります。本書の内容については万全を期していますが、記入漏れ等お気づきの点は、当社サポートセンターにご連絡ください。

TEL:0570-035-672 メール:ips-support@univapay.com

1.3 パラメータ表の見方

必須欄の記号の意味は以下の通りです。

●=必須 ※=備考を参照 ×=無効 注*=表末の注意書きを参照

1.4 開発を始める前に

本ドキュメントを利用して当社決済システムと加盟店システム(webサイト)を接続するためには、各方式毎に必要な設定があります。詳細は次章をご覧ください。

1.5 コントロールパネルへのログイン

コントロールパネルのURLは <https://cp.ccps.jp/> です。

ログインに必要な情報は、契約後に当社サポートセンターより発行されるメール

【重要】システム設定完了のお知らせ①

【重要】システム設定完了のお知らせ②

に記載しております。お手元にメールが無い場合は、お申込み担当者様にご確認ください。

【重要】ID/PW照会について:

コントロールパネルにログインするためのID/PWは重要な機密情報にあたるため、当社ならびに当社サポートデスクにお問合せいただいても照会できかねます。送信されたメールは厳重に保管してください。

1.6 接続のための記述例

以下に各方式の接続(課金などのリクエスト)に必要な記述例を記載していますが、全て「CAPTURE=仮実同時」ジョブの実行を例にしています。3章で紹介するその他の各ジョブ実行のための記述は、本仕様書とサンプルを参考のうえ加盟店の責任において行ってください。

リンク方式の記述例

<https://link.upc-app.com/htmllink.html>

トークン方式の記述例

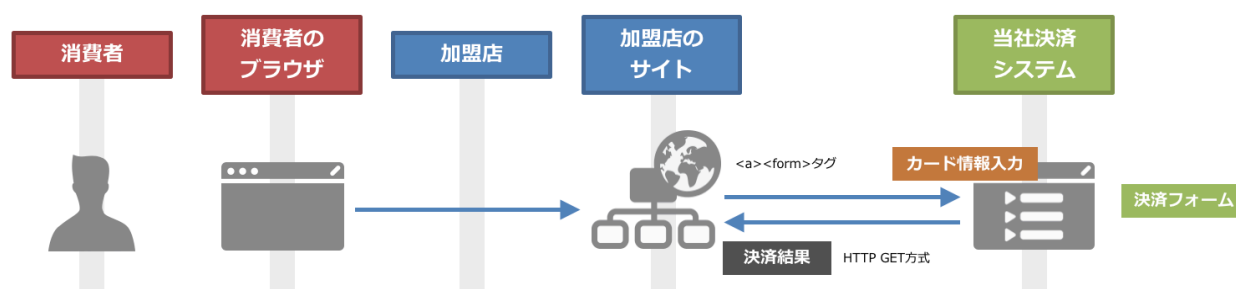
<https://link.upc-app.com/js.html>

2章 決済システムとの接続方式

2.1 接続方式1 リンク方式

はじめに

リンク方式は、消費者を当社決済システム内にある決済フォームに遷移させてからカード情報を入力させ、そこで決済リクエストを行う方式です。



加盟店は本ドキュメントを参照し契約サイトから当社決済フォームに各種パラメータを送信しつつ消費者を遷移させるハイパーリンク(<a>タグや<form>タグ)を販売ページに設置、またはカート内で都度生成するプログラムを設置してください。

事前の準備

リンク方式では、事前にコントロールパネルで「クレジット決済データ送信元URL」で指定したURLのリファラ※を持つアクセスのみ受け付けます。必ず開発前にはコントロールパネルにログインし、該当のフォーム(コントロールパネル/設定/各種設定/クレジット設定/PC用[または携帯用]決済フォーム設定/送信元URL)にリンク元のURL(例: <http://www.example.com>)を登録する必要があります。

※…リファラとは: Webサーバのアクセスログに記録される項目で、リンク元のURLを指す。なお従来型携帯端末の一部ブラウザがリファラを参照できない仕様であるため、モバイルリンク方式でスマートフォンのユーザーエージェント(以下「UA」)を検知しない場合、リファラ制限は動作しません。

決済処理後のアクション

消費者は決済処理後、指定先※にリダイレクトされます。(そのまま完了も可)

※…(コントロールパネル/設定/各種設定/クレジット設定/PC用[または携帯用]決済フォーム設定/転送先URL)

ご注意

リンク方式を利用する際には、当社決済サーバのSSLを利用するため、加盟店サイトでのSSL導入は不要です。(但し個人情報を当社決済フォームに送信する場合は導入を推奨します)

2.2 接続2 ゲートウェイ方式

【重要】以前より当社決済システムをご利用のお客様へ：

クレジット取引セキュリティ対策協議会が発表した実行計画と割賦販売法の改正により、ゲートウェイ方式で当社決済システムに向けたカード情報送信は、PCI DSSIに準拠した法人ならびにシステム環境下を除き利用不可としました。なお、PCI DSS準拠した加盟店は当社までお問い合わせください。

【重要】PCI DSSへの準拠なくカード情報の送信があった場合：

PCI DSS準拠していない加盟店がカード情報を保持、または通過させていた事が判明した場合、加盟契約の解除ならびに罰金が課せられる場合がありますが、当社では一切の責任は負わず、罰金の全額とその調査・連絡などにかかった費用のすべてを加盟店に請求します。

はじめに

ゲートウェイ方式は、加盟店サーバと当社決済サーバとが直接通信を行う方式で、PCI DSSに準拠した加盟店はカード情報を送信して課金などのジョブを実行できますが、それ以外の加盟店では一度別の方式で決済したデータに対する変更や編集、再課金を行う際に用います。

決済結果の通知は「キックバック」と「レスポンス」の2方式から選択可能です。詳しくは「18章 決済結果通知」をご覧ください。

事前の準備

ゲートウェイ方式でのデータ送信は、事前に当社コントロールパネルで指定※した送信元IPアドレスからのリクエストのみを受け付けます。

※…(コントロールパネル/設定/各種設定/クレジット設定/決済ゲートウェイ/送信元IP)

ご注意

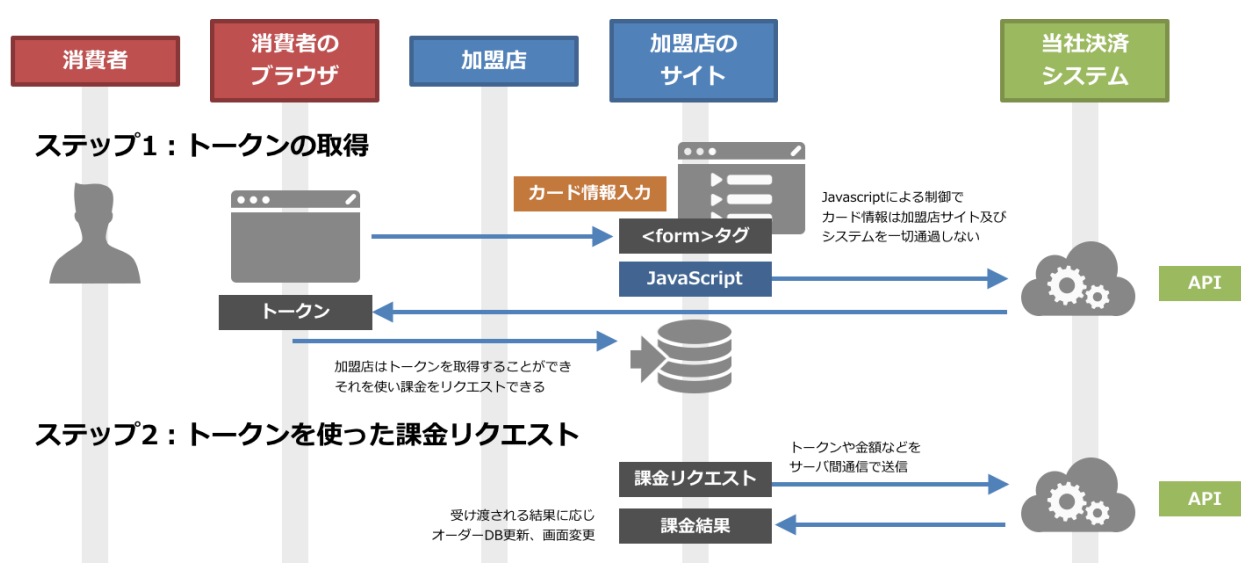
加盟店はSSLをサーバに適用する必要があります。

2.3 接続方式3 トークン方式

はじめに

トークン方式は、カード情報を当社が用意したJavaScriptを利用して当社APIに送信することで、加盟店ならびに加盟店のサイトを通過させずにトークンという文字列に変換して入手する方式です。

この方式は、トークンの発行までを他方式と全く違う仕組みで行いますが、発行したトークンを用いて課金(CAPTURE)などの各種ジョブを実行するには、前述のゲートウェイ方式と同様のサーバ間通信をするプログラムを加盟店にて作成する必要があります。



取得したトークンで出来ること

トークン化した後は、そのトークンを送信することで発行時に登録したカードに対して各種ジョブを実行できます。各ジョブの詳細については「3章 クレジット決済手順」をご覧ください。

事前の準備

トークン化の処理自体にはデータ送信元のリファラチェックやIPアドレスのチェックはありませんが、課金リクエストなどのサーバ間データ送受信は、事前に当社コントロールパネルで指定※した送信元IPアドレスからのみ受け付けます。開発を始める前に登録してください。

※…(コントロールパネル/設定/各種設定/クレジット設定/決済ゲートウェイ/送信元IP)

ご注意

加盟店はSSLをサーバに適用する必要があります。

JavaScriptが有効な環境(OS / ブラウザ)でのみ動作します。

動作確認済みのOS / ブラウザ:

Windows 7 Pro / Internet Explorer、Firefox55、Chrome 60

Windows 10 / Microsoft Edge25、Internet Explorer 11、Firefox 55、Chrome 60

MacOS 10.12.6 / Safari 10、Chrome 60、Firefox 52

Android 4.4.4以降 iOS 10 以降 (JavaScriptに対応したブラウザ全て)

- いずれも日本語版／サポートが終了しているバージョンは割愛
- Internet Explorerは、Version11以降の標準モードのみ
- 動作を確認していないOS/ブラウザでもご利用可能な場合があります。
- 動作確認済みのOS/ブラウザをご利用の場合でも、消費者の閲覧環境(設定、通信速度等)によっては正しく利用できない場合があります。

3章 クレジット決済手順

3.1 手順

クレジット決済とは、当社ないし加盟店のフォームに入力されたクレジットカード番号をカード会社に送信し、当該金額の決済可否を確認し、判定処理するサービスです。

消費者は以下の手順で決済を行います。

完了後の消費者リダイレクトや結果通知については17章以降を参照してください。

リンク方式

- 1.加盟店サイトにアクセス
- 2.申し込み手続き
- 3.支払い方法で「クレジット決済」を選択
- 4.当社フォームに遷移しカード番号、有効期限、カード名義、電話番号、メールアドレス、その他指定した項目を入力、送信

トークン方式

- 1.加盟店サイトにアクセス
- 2.申し込み手続き
- 3.支払い方法で「クレジット決済」を選択
- 4.トークン方式に沿って作られた加盟店フォームにカード番号、有効期限、カード名義、電話番号、メールアドレス、その他指定した項目を入力、送信
- 5.トークンを取得して課金のリクエスト(実装次第で4.と連続しての処理も可)

ゲートウェイ方式

- 1.加盟店サイトにアクセス
- 2.申し込み手続き
- 3.支払い方法で「クレジット決済」を選択
- 4.ゲートウェイ方式に沿って作られた加盟店フォームにカード番号、有効期限、カード名義、

電話番号、メールアドレス、その他指定した項目を入力、送信(PCI DSS準拠環境下のみ)

3.2 クレジットカード決済のジョブ種別

当社クレジットカード決済サービスには以下のジョブ種別があります。

名称	jobフィールドの値	内容
仮売上	AUTH	送信されたカード情報で販売前に当該金額分の利用が可能であることを確認します。仮売上は一定期間(日本国内発行カードは60日、海外発行カードは30日)で消滅。一部接続先カード会社では無効や一定期間が異なります。
実売上	SALES	事前に取得した仮売上を実売上処理することで消費者への請求を確定します。(管理画面からも可)
仮実同時	CAPTURE	仮売上と実売上を同時に行います。仮売上が利用できない環境では本ジョブのみ有効です。
有効性チェック	CHECK	仮売上が有効な環境下では、送信されたカード情報が有効なものであるかを確認します。 仮売上が無効な環境下では(1)カード番号が発行ロジックに適合しているか？(2)有効期限が当月以降であるか？のチェックのみ行います。
自動課金情報変更	CARDCG	登録されている自動課金情報を変更します。
自動課金停止	ACSTOP	登録されている自動課金を停止します。
取消	CANCEL	仮売上、実売上の完了している決済を取消します。 既に消費者からカード会社に支払済みの場合は、カード会社を通して返金します。(管理画面からも可)
ワンタッチ課金	ONETOUCH	過去1年以内に行った決済のカード情報を呼び出し、任意の金額で再課金。
ワンタッチ仮売	ONETOUCHAUTH	過去1年以内に行った決済のカード情報を呼び出し、任意の金額で仮売上。
ワンタッチ更新	ONETOUCHCHG	過去1年以内に行った決済のカード情報やメールアドレス等を更新します。
自動課金登録	ADDAC / ADDAC2	ADDACは初回に「有効性チェック」を行い、自動課金登録します。一部環境でのみ有効(利用可否はサポートデスクまでお問い合わせください)。 ADDAC2は(1)カード番号が発行ロジックに適合しているか？(2)有効期限が当月以降であるか？のチェックのみ行い、自動課金登録します。

3.3 各パラメータのフィールド名

次章以降で解説する各パラメータのフィールド名は、当社が独自に定義したものです。

なお決済要求時に本ドキュメントに定めのないフィールド名を用いて値を送信した場合には、

- ◆ 決済完了後転送先URL(リンク方式、トークン方式)
- ◆ 決済結果通知先URL(リンク方式、ゲートウェイ方式で結果通知をキックバック指定時)

に対し、同じフィールド名とその値をHTTP GET方式(当社決済システム内プログラムが設定URLにアクセスすること)で通知します。

ゲートウェイ方式で結果通知方法をレスポンスとした場合は、「フィールド名=値」のフォーマットで通常出力されるパラメータの末尾に同じ値が追加されます。

詳しくは「17章 決済完了後の転送」と「18章 決済結果通知」をご確認ください。

3.4 外貨建て決済の通貨単位について

各種外貨建て決済のご利用は、専用の契約が必要です。

米ドル(USD)、欧州ユーロ(EUR)、英ポンド(GBP)、タイバーツ(THB)

外貨建て決済をご利用の場合、商品登録時やパラメータ送信時の通貨単位は1セント(ペンス、サタン)から可能です。1ドルと指定する場合、100と入力してください。

例:120ドル→12000 5ドル25セント→525

例:120ユーロ→12000 5ユーロ25セント→525

例:120ポンド→12000 5ポンド25ペンス→525

例:120バーツ→12000 5バーツ25サタン→525

4章 テストモードについて

4.1 テストモード概要

初期設定では、システムモードを「本番モード」に設定しています。

テストモードでテストをお試しいただく際は、システムモードを「テストモード」に変更してください。テストモードは開発者が自身のクレジットカードを使えない場合でも決済結果通知の受け取りテストを行えるよう、カード会社との通信を行わず当社決済システム内で擬似的に決済完了状態を作ります。

「成功」の結果を受け取るテスト

テストモードでもカード番号の桁数、発行ロジックに適應しているかのチェックを行なっています。成功の結果が必要な場合はカード番号を「4444333322221111」、有効期限を「当月以降」で入力し、テスト決済を行う事ができます。

「失敗」の結果を受け取るテスト

本番モードに切り替え、カード番号を「4444333322221111」、有効期限を「当月以降」で入力でのテスト決済を行ってください。

ご注意

テストモードの決済結果通知時には「ap」フィールドにて「TestMode」の値が送信されますので、事故防止のため本番環境で同パラメータを検知した場合に正規注文と認識しないよう、処理してください。

4.2 免責事項【重要】

接続検証が終わり、消費者に対し公開をする前には必ずコントロールパネル

(設定/各種設定/クレジット設定/システムモード)

から、「本番モード」を選択の上、更新ボタンを押下してください。

「テストモード」のまま本番稼働して発生した損失について当社は一切の責任を負いかねます。

5章 カード情報のトークン化

5.1 概要

トークン方式では課金の前に「トークン化」という手順が必要です。

その後の課金などのジョブ実行時には必ずトークンを送信する必要があります。

トークン化の手順

加盟店サイトに設置されたカード情報(カード番号、有効期限、姓、名)の入力フォームから、同ページに記述されたJavaScriptならびに当社サーバから参照しているJavaScriptファイルを利用してgetMemberToken()というメソッドを実行することで、カード情報が加盟店ならびに加盟店のサイトを通さず当社APIに送信され、トークン(半角英数36桁)という文字列を受け取ることができます。

取得したトークンに対し、課金等のリクエストをするには

取得したトークンに対しての課金等(3章記載の各種ジョブ)のリクエストをするには、ゲートウェイ方式と同様のサーバ間通信をするプログラムファイルを作成する必要があります。

実装方法の一例

トークン方式でカード情報をトークン化し、その後課金するには以下の実装が必要です。

1. 当社が公開しているJavaScriptファイルを参照する記述
2. 店舗IDの識別と、各種フィールド名を定義するJavaScriptの記述
3. 取得したトークンで課金リクエストするためのJavaScriptの記述
4. カード情報(カード番号、有効期限、姓、名)を「5.」にgetMemberToken()メソッドを実行する<form>タグ等
5. サーバ間通信を行うプログラム

記述例: <https://link.upc-app.com/js.html>

5.2 JavaScriptメソッドのリファレンス

getMember

トークン取得を行うメソッドです。取得結果は、コールバックパラメータで指定した関数にJavaScriptオブジェクトとして渡されます。

該当する記述: Multipayment.getMember(memberObj, callback)

サンプル: <https://link.upc-app.com/js.html>

パラメータ

項目	フィールド	形式	必須	説明
1	memberObj	Json形式	●	会員情報オブジェクト、詳細を下に記載
2	callback		●	コールバック関数名 サンプルではexecMemberPurchase

memberObjの詳細

パラメータ(Json形式)

項目	フィールド	文字種(桁)	必須	説明
1	cardno	半角数(14-16)	●	カード番号
2	securitycode	半角数(3-4)	※	セキュリティコード コントロールパネルの設定による。
3	expire	半角数(4-6)	●	有効期限 2017年8月の場合「0817」か「082017」
4	holderfirstname	半角英(1-50)	●	カード会員名(名)
5	holderlastname	半角英(1-50)	●	カード会員名(姓)
6	memberid	半角英数(1-32)	※	加盟店で利用している、会員を識別するidなど トークンを利用して継続課金を行う場合は必須
7	membercode	半角英数(1-32)		加盟店が任意に利用可能なフィールド
8	email	半角英数(1-50)	●	メールアドレス

9	phonenumber	半角数(8-20)	•	電話番号
10	phonenumberCountryCode	半角英数		電話番号の国コード 未指定時、+81を送信
11	addressCountry	半角英数 (ISO3166-1 Alpha-2)	注1	住所(国コード)
12	addressZip	半角英数	注1	住所(郵便番号)
13	addressState	半角英数 (ISO 3166-2(EN))	注1	住所(都道府県)
15	addressCity	半角英数	注1	住所(市区町村)
15	addressLine1	半角英数	注1	住所(番地・号)
16	addressLine2	半角英数	注1	住所(ビル名等)

<注意>

注1:「カード会員の請求先住所」フィールドが1つでも存在する場合(addressLine1、addressCity、addressState、addressZip、addressCountry)、これらの項目はすべて必須

5.3 コールバックのリザルト

コールバックのリザルト取得

継続的な課金を想定しているなどの理由でトークンを保存する必要がある場合は、以下を参照しコールバックのリザルトを取得し、データベースなどに保存するプログラムを作成してください。

コールバック時のオブジェクト

以下のようなネスト(入れ子)されています。

```
response
├ resultcode
└ tokenObj
```

- └ IsSecurityCodeSet
- └ maskedCardNo
- └ toBeExpiredAt
- └ token

成功時のサンプル

カード番号4444333322221111、有効期限10/20でトークン取得した場合のサンプルは以下です。

```
{
  "resultCode": 0,
  "tokenObject": {
    "isSecurityCodeSet": true,
    "maskedCardNo": "4444*****1111",
    "toBeExpiredAt": "1020",
    "token": "<英数(ハイフン含)36桁のトークン>"
  }
}
```

失敗時のサンプル:

response.resultcode=100

getMemberコールバック

Multipayment.getMember()の処理後に呼び出される、コールバック関数です。コールバック関数には、匿名メソッドを利用できません。必ず、リンクサンプルに記載のような名前のついたメソッドを実装してください。

[getMemberで指定したコールバック関数](Result)
 コールバックのResultには、以下のJavaScript Objectが設定されます。

tokenObjectの構造

項目	フィールド	文字種(桁)	説明
1	token	半角英数(36)	トークン
2	toBeExpiredAt	半角数(4)	有効期限 2017年8月の場合「0817」
3	maskedCardNo	半角数(14-16)	マスクされたカード番号 例:1234*****5678
4	isSecurityCodeSet	半角数(4-5)	セキュリティーコード認証の有無:

			あり=true なし=false
--	--	--	------------------

5.4 コールバックのリザルト内のresultcode

コールバックの結果は以下のようにチェックできます。

```
function execMemberPurchase(response) {
  if ( response.resultCode !== 0 ) {
    var lang = "ja";
    if ( document.getElementById("lang") !== null )
      lang = document.getElementById("lang").value;
    window.alert("Error: " + getResultCodeDetail(response.resultCode, lang));
  }
}
```

getResultCodeDetail(response.resultCode, lang) の部分に、langに応じたテキストが返されます。

なお加盟店サイトから参照している当社JavaScriptファイルではこれをダイアログとして出力する記述がありません。

resultcodeの内容

コード	日本語(ja)	英語(en)	簡体字(cn)	繁体字(tw)
0	成功時は空			
100	カード番号を入力してください。	Please enter your card number.	卡号为空	卡號為空
101	カード番号が無効です。	The card number is invalid.	卡号(无效)	卡號(無效)
102	カード番号を確認してください。(桁数不正)	Please check the card number. (Invalid number of digits)	卡号位数	卡號位數
103	カード番号を確認してください。	Please check the card number.	请确认卡号	請確認卡號
110	カードの有効期限を入力してください。	Please enter the expiration date of the card.	卡有效期限为空	卡有效期限為空
111	カードの有効期限を確認してください。	Please check the expiration date of the card.	卡有效期限(无效)	卡有效期限(無效)
112	カード有効期限を正しく入力してください。	Please enter the card expiration date correctly.	卡有效期限位数	卡有效期限位數
113	カード有効期限(月)を確認してください。	Please check the card expiration date (Month)	卡有效期限月	卡有效期限月
114	カードの有効期限を確認してください。	Please check the expiration date of the card.	卡有效期限(无效)	卡有效期限(無效)
121	カードセキュリティコードを確認してください。	Please check the card security code.	卡安全码(无效)	卡安全碼(無效)
122	カードセキュリティコードを確認してください。	Please check the card security code.	卡安全码位数	卡安全碼位數
131	カード名義(名)を確認してください。	Please check the card first name.	持卡人名(无效)	持卡人名(無效)
132	カード名義(名)が長すぎます。	Please check the card first name (Invalid length).	持卡人名(字数)	持卡人名(字數)
133	カード名義(姓)を確認してください。	Please check the card last name.	持卡人姓(无效)	持卡人姓(無效)
134	カード名義(姓)が長すぎます。	Please check the card last name (Invalid length).	持卡人姓(字数)	持卡人姓(字數)
141	トークンが無効です。	The token is invalid.	令牌(无效)	令牌(無效)

142	トークンが長すぎます。	The token is too long.	令牌長度	令牌長度
300	店舗番号を入力してください。	Please enter your shop number.	商店编号为空	商店編號為空
301	店舗番号が無効です。	The shop number is invalid.	商店编号(无效)	商店編號(無效)
302	店舗番号を確認してください。(桁数不正)	Please check the shop number. (Invalid number of digits)	商店编号位数	商店編號位數
303	会員番号を入力してください。	Please enter your shop member number.	会员编号为空	會員編號為空
304	会員番号を確認してください。(桁数不正)	Please check the member number.(Invalid number of digits)	会员编号位数	會員編號位數
305	メールアドレスが無効です。	The e-mail is invalid.	邮件地址(无效)	電子郵件信箱(無效)
306	メールアドレスを確認してください。(桁数不正)	Please check the e-mail. (Invalid length)	邮件地址位数	電子郵件信箱位數
307	電話番号が無効です。	The phone number is invalid.	电话号码(无效)	電話號碼(無效)
308	電話番号を確認してください。(桁数不正)	Please check the phone number. (Invalid number of digits)	电话号码位数	電話號碼位數
309	メンバーコードを確認してください。(桁数不正)	Please check the member code. (Invalid number of digits)	会员代码位数	會員代碼位數
320	住所(国)が不正です。	Address's Country is Invalid.	地址(国家)不正确。	地址的國家代碼無效。
321	電話番号(国コード)が不正です。	Phone Number Country Code is Invalid.	电话号码(国家代码)不正确。	電話號碼的國家代碼無效。
322	住所情報が不十分です。	Address is incomplete.	地址信息不完整。	地址不完整。
323	住所は必須です。	Address is required.	需要输入地址。	地址必須填寫。
324	許可されていない国のカードです。	Card's Country is forbidden.	卡来自未经验证的国家。	卡片的國家/地區禁止使用。
325	3-Dセキュア認証に失敗しました。	3D Secure verification has failed.	3-D 安全授权失败。	3D Secure 驗證失敗。
326	3-Dセキュア未登録カードです。3-Dセキュア登録後、再決済を行うか、別のカードを使用してください。	Card is not enrolled into 3D Secure, please enroll it or use another card.	卡未进行 3-D 安全注册; 请注册 3-D 安全并重新支付或使用其他卡。	卡未註冊到 3D Secure , 請註冊或使用其他卡。
327	住所(都道府県)が不正です。	Address State is Invalid.	地址(县)无效。	地址國家無效。
900	システムエラー	System Error	系统错误	系統錯誤

5.5 トークンの有効期限

memberIdを付加して取得したトークン: 最終利用から1年間

※memberIdを付加しても、トークン取得から5分以内に1度も決済処理を行われない場合、

トークンは削除されますのでご注意ください。

memberIdを付加せず取得したトークン: 5分(継続的な課金のない加盟店に推奨)

6章 仮売上/仮実同時 (AUTH / CAPTURE)

6.1 概要

仮売上 (AUTH)

送信されたカード情報で当該金額分の利用が可能であることを確認および与信枠の確保を行います。仮売上は一定期間(日本国内発行カードは60日、海外発行カードは30日)で消滅。期限を過ぎた決済の実売上は失敗となります。一部接続先カード会社では仮売上が無効や、仮売上の定期期間が異なる場合がございます。詳細確認は弊社サポートデスクまでお問い合わせくださいませ。

仮実同時 (CAPTURE)

仮売上と実売上を同時に行います。仮実同時処理の成功時に請求が確定します。仮売上が利用できない場合、本コードのみ有効です。結果は「18章 決済結果通知」に記載の通り通知します。

6.2 パラメータ

トークン方式の送信先URL : <https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx>

リンク方式、ゲートウェイ方式の送信先URL : <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信(●=必須 ※=備考を参照 ×=無効 注X=表末の注意書きを参照)

項目	フィールド	文字種(桁)	必須			説明
1	sid	半角数(6)	●			店舗ID
2	svid	半角数(1)	●			サービス種別 必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	●			処理種別: 1=トークン決済(memberpay.aspxのみ) 1=ゲートウェイ決済 (payment.aspxのみ PCI DSS準拠環境以外では禁止) 2=3Dセキュア認証をするゲートウェイ決済 3=リンク方式 4=リンク方式(3DS)
			1 トークン方式	1~2 ゲートウェイ方式	3~5 リンク方式	

						8=レスポンスフォーム(PC/スマートフォン共用)
4	job	半角英 ⁽⁴⁻⁷⁾	●	●	●	ジョブ種別: AUTH=仮売上 CAPTURE=仮実同時
5	rt	半角数 ⁽¹⁾				決済結果の返信方法: 1=キックバック 2=レスポンス ※リンク方式指定時はキックバックのみ。省略時は「1」を適用
6	sod	半角英数 ⁽¹⁻⁵⁰⁾				店舗オーダー番号: 個別の注文を識別するために使用
7	upcmemberid	半角英数 ⁽³²⁾	●	×	×	前章「トークン化」で取得したトークン
8	fn	半角英 ⁽¹⁻⁵⁰⁾		●	注1	カード会員名
9	ln	半角英 ⁽¹⁻⁵⁰⁾		●	注1	カード会員姓
10	em	半角英数 ⁽¹⁻⁵⁰⁾	注3	●	注1	メールアドレス
11	tn	半角数 ⁽⁸⁻²⁰⁾	注3	●	注1	電話番号 ハイフン無し
12	tncountry	半角英数 ⁽¹⁻²⁵⁵⁾				国際電話の国番号 未指定時、+81を送信
13	cadco	半角英 ⁽²⁾			注4	住所(国)ISO 3166-1 Alpha-2
14	addressZip	半角数 ⁽¹⁻⁵⁰⁾			注4	住所(郵便番号)
15	cadst	半角英数 ⁽¹⁻²⁵⁵⁾			注4	住所(都道府県)ISO 3166-2
16	cadct	半角英数 ⁽¹⁻²⁵⁵⁾			注4	住所(市区町村)
17	cadl1	半角英数 ⁽¹⁻²⁵⁵⁾			注4	住所(番地・号)
18	cadl2	半角英数 ⁽¹⁻²⁵⁵⁾			注4	住所(ビル名等)
19	st	半角数 ⁽¹⁾			注1	支払方法: 1=一括 2=分割 4=リボ 省略時は「1」を適用 一部の接続先カード会社では無効 デビットカード及びVプリカ等のプリペイド型カードは、分割・リボ払いが適用されません。
20	sc	半角数 ⁽¹⁻³⁾			注1	支払い回数: 1回・3回・5回・6回・10回・12回・15回・18回・20回・24回 支払方法に「2」指定かつゲートウェイ時は必須、未指定時は無効

					デビットカード及びVプリカ等のプリペイド型カードは、分割・リボ払いが適用されません。
21	succd	半角英数 (1-10)			事前に弊社サポートに連絡いただいた店舗復帰URL コード
22	lang	半角英 (2)			表示言語 ja=日本語 en=英語 cn=中国語簡体字 tw=中国語繁体字 省略時は「ja」適用 twはtypeが「8」の場合のみ有効
備考: ゲートウェイ方式では消費者向け決済確認メールの文言のみ変更 実売上、取消時にも消費者向け決済確認メールを同じ言語で送信					
23	sicd1	半角英数 (1-50)			事前に当社コントロールパネルで登録した商品コード 指定時 <項目20~29>は全て無効
24	siam1	半角数 (1-9)	※ 注2		商品金額
備考: 商品コード未指定時は必須					
25	sinm1	半角英数 (1-50)	注2		決済フォーム(リンク方式のみ)、メール、コントロールパネル 内決済データ詳細画面に出力する商品名 マルチバイト文字(漢字、全角ひらがな、全角カタカナ等)の場合はUTF8で URLエンコードして変換した値を送信
26	sisf1	半角数 (1-9)	注2		送料
27	actp1	半角数 (1-2)	※ 注2		自動課金周期: 2=毎週 3=隔週 4=毎月 5=隔月 6=3ヶ月 7=6ヶ月 8=1年 20=日数指定 21=日付指定 22=開始日指定(月周期) 23=開始日指定(日周期) 24=翌月日付指定
備考: 商品コード未指定で、自動課金を行う場合は必須					
28	acdc1	半角数 (1-3)	※ 注2		自動課金日付: 20=X日周期 21=X日付 22=X日後開始 23=X日周期 24=翌月日付指定
備考: 自動課金周期 に「20」「21」「22」「23」「24」指定時必須 「0」は指定不可					

29	acmc1	半角数(1-3)	※ 注2	自動課金間隔: 21=(指定値)×ヶ月毎 22=(指定値)×ヶ月毎 23=X日後開始 24=(指定値)×ヶ月毎
備考:自動課金周期に「21」「22」「23」「24」指定時必須				
30	acam1	半角数(1-9)	※ 注2	自動課金額
備考:商品コード未指定で、自動課金を行う場合は必須				
31	acrm1	半角数(1-3)	注2	自動課金回数:「0」指定・省略時=無制限
32	acrt1	半角数字(1-2)	注2	自動課金リトライ回数:未指定時は3回
33	acrd1	半角数字(1-3)	注2	商品1に対する自動課金リトライ周期:(指定値)×日 未指定時は自動課金周期による以下のデフォルト値 自動課金周期が「2、20、23」の場合 =「1」日、「3」の場合 =「3」日、「月単位」の場合=「7」日(毎週同曜日)
34	任意の追加 フィールド	半角英数 (1-50)		任意の値 本ドキュメントに定めのないフィールドのみ有効 複数設定可

<注意>

注1:リンク方式で送信した場合、各パラメータはフォームに入力済みの状態で表示されます

注2:商品コード指定時は無効

注3:トークン化時に送信していれば不要

AUTH/CAPTURE時に違う値を送信した場合、その処理のレコードにだけ記録します

トークン化時の3Dセキュアが無効になるためこのJOBでの指定は推奨しません

注4:「カード会員の請求先住所」フィールドが1つでも存在する場合、これらの項目はすべて必須

6.3 仮売上についての免責事項

仮売上は一定期間(日本国内発行カードは60日、海外発行カードは30日)で消滅します。一部接続先カード会社では仮売上が無効や、仮売上の定期期間が異なる場合がございます。詳細確認は弊社サポートデスクまでお問い合わせくださいませ。

【重要】仮売上の実売上化に関するご注意:

仮売上の取得から上記有効期間中は指定額の実売上を行う事が可能ですが、有効期間中であってもクレジットカードの解約や停止等、カード会員の責に帰すべき事由により実売上が行えない可能性があります。当社ではその場合の一切の保証、責任を負いかねます。

7章 実売上 (SALES)

7.1 概要

事前に取得した仮売上を実売上処理することで消費者への請求を確定します。

物販で注文時に仮売上処理している場合は、出荷を契機に実売上処理をすることを推奨します。

ゲートウェイ方式、またはコントロールパネル(決済情報/決済情報検索)からの個別または一括でチェックを行い処理が可能です。

結果は「18章 決済結果通知」に記載の通り通知します。

7.2 パラメータ

送信先URL: <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信

項目	フィールド	文字種(桁)	必須	説明
1	sid	半角数(6)	●	店舗ID
2	svid	半角数(1)	●	サービス種別 必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	●	処理種別 必ず「1」を指定
4	job	半角英(5)	●	ジョブ種別 必ず「SALES」を指定
5	rt	半角数(1)		決済結果の返信方法 1=キックバック 2=レスポンス ※省略時は「1」を適用
6	pid	半角数(7-9)	●	仮売上の決済成功時に発行された決済番号

8章 有効性チェック (CHECK)

8.1 概要

送信されたカード情報が有効なものであるかを確認します。

接続先カード会社により挙動が変化します。詳しくは「3章 2 クレジットカード決済のジョブ種別」をご覧ください。処理結果は「18章 決済結果通知」に記載の通り通知します。

8.2 パラメータ

トークン方式の送信先URL: <https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx>

リンク方式、ゲートウェイ方式の送信先URL: <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信

項目	フィールド	文字種(桁)	必須			説明
1	sid	半角数(6)	●			店舗ID
2	svid	半角数(1)	●			サービス種別:必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	●			処理種別: 1=トークン決済(memberpay.aspxのみ) 1=ゲートウェイ決済 (payment.aspxのみ PCI DSS準拠環境以外では禁止) 2=3Dセキュア認証をするゲートウェイ決済 3=リンク方式 4=リンク方式(3DS) 8=レスポンスフォーム(PC/スマートフォン共用)
				1 トークン 方式	1~2 ゲート ウェイ 方式	
4	job	半角英(5)	●	●	●	ジョブ種別:「CHECK」を指定
5	rt	半角数(1)	×			決済結果の返信方法: 1=キックバック 2=レスポンス ※リンク方式指定時はキック バックのみ。省略時は「1」を適用
6	sod	半角英数(1-50)				店舗オーダー番号:オーダーを識別するために使用
7	upcmemberid	半角英数(32)	●	×	×	トークン

項目	フィールド	文字種(桁)	必須			説明
1	sid	半角数(6)		●		店舗ID
2	svid	半角数(1)		●		サービス種別:必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)		●		処理種別: 1=トークン決済(memberpay.aspxのみ) 1=ゲートウェイ決済 (payment.aspxのみ PCI DSS準拠環境以外では禁止) 2=3Dセキュア認証をするゲートウェイ決済 3=リンク方式 4=リンク方式(3DS) 8=レスポンスフォーム(PC/スマートフォン共用)
			1 トークン 方式	1~2 ゲート ウェイ 方式	3~8 リンク 方式	
8	fn	半角英数(1-50)	注2	●	注1	カード会員名
9	ln	半角英数(1-50)	注2	●	注1	カード会員姓
10	em	半角英数(1-50)	注3	●	注1	メールアドレス
11	tn	半角数(8-20)	注3	●	注1	電話番号 ハイフン無し
12	tncountry	半角英数(1-255)				国際電話の国番号 未指定時、+81を送信
13	cadco	半角英(2)			注4	住所(国)ISO 3166-1 Alpha-2
14	addressZip	半角数(1-50)			注4	住所(郵便番号)
15	cadst	半角英数(1-255)			注4	住所(都道府県)ISO 3166-2
16	cadct	半角英数(1-255)			注4	住所(市区町村)
17	cadl1	半角英数(1-255)			注4	住所(番地・号)
18	cadl2	半角英数(1-255)			注4	住所(ビル名等)
19	sucd	半角英数(1-10)				事前に当社コントロールパネルで登録した店舗復帰 URLコード
20	lang	半角英(2)	※	※		処理を行う言語 ja=日本語 en=英語 cn=中国語簡体字 tw=中国語

項目	フィールド	文字種(桁)	必須			説明
1	sid	半角数(6)	●			店舗ID
2	svid	半角数(1)	●			サービス種別:必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	1 トークン 方式	1~2 ゲート ウェイ 方式	3~8 リンク 方式	●
						処理種別: 1=トークン決済(memberpay.aspxのみ) 1=ゲートウェイ決済 (payment.aspxのみ PCI DSS準拠環境以外では禁止) 2=3Dセキュア認証をするゲートウェイ決済 3=リンク方式 4=リンク方式(3DS) 8=レスポンスフォーム(PC/スマートフォン共用)
						繁体字 省略時は「ja」を適用 twはptypeが「8」の場合のみ有効
備考:トークン方式とゲートウェイ方式では消費者向けメールの文言を変更						
21	任意の追加 フィールド	半角英数(1-50)				任意の値 本ドキュメントに定めのないフィールドのみ有効 複数設定可

<注意>

注1: リンク方式で送信した場合、各パラメータはフォームに入力済みの状態で表示されます。

注2: トークン方式でこのフィールドに値を送信した場合、以降の自動課金でもその値が利用されますが、取得時に記録した同フィールドの値は更新されません(後日、同トークンでワンタッチ課金をすると取得時のデータが適用)。なお送信した値が一致するか等のチェックありません。

注3: トークン化時に送信していれば不要

AUTH/CAPTURE時に違う値を送信した場合、その処理のレコードにだけ記録します

トークン化時の3Dセキュアが無効になるためこのJOBでの指定は推奨しません

注4: 「カード会員の請求先住所」フィールドが1つでも存在する場合、これらの項目はすべて必須

9章 自動課金情報登録(ADDAC / ADDAC2)

9.1 概要

初回の課金を行わずに自動課金の登録を行います。ADDACは国内ライン利用時のみ有効で、初回は有効性チェックを行、ADDAC2は有効性チェックが無効な環境に推奨する方式で、初回カード番号がの桁数及び上二桁がカード番号発行ロジックに沿っているかのみをチェックします。

結果は「18章 決済結果通知」に記載の通り通知します。

9.2 パラメータ

トークン方式の送信先URL : <https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx>

リンク方式、ゲートウェイ方式の送信先URL : <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信

項目	フィールド	文字種(桁)	必須			説明
1	sid	半角数(6)	●			店舗ID
2	svid	半角数(1)	●			サービス種別:必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	1 トークン 方式	1~2 ゲート ウェイ 方式	3~8 リンク 方式	処理種別: 1=トークン決済(memberpay.aspxのみ) 1=ゲートウェイ決済 (payment.aspxのみ PCI DSS準拠環境以外では禁止) 2=3Dセキュア認証をするゲートウェイ決済 3=リンク方式 4=リンク方式(3DS) 8=レスポンスフォーム(PC/スマートフォン共用)
4	job	半角英(4-7)	●	●	●	ジョブ種別 ADDAC=有効性チェック型自動課金登録 ADDAC2=カード登録型自動課金登録
5	rt	半角数(1)			×	決済結果の返信方法: 1=キックバック 2=レスポンス ※リンク方式指定時はキックバックのみ。 省略時は「1」を適用

6	sod	半角英数(1-50)				店舗オーダー番号:個別の注文を識別するために使用
7	upcmemberid	半角英数(32)	●	×	×	トークン
8	fn	半角英(1-50)	注3	●	注1	カード会員名
9	ln	半角英(1-50)	注3	●	注1	カード会員姓
10	em	半角英数(1-50)	注3	●	注1	メールアドレス
11	tn	半角数(8-20)	注3	●	注1	電話番号
12	sucd	半角英数(1-10)		×		事前に当社コントロールパネルで登録の店舗復帰URLコード
13	lang	半角英(2)		※		表示言語: ja=日本語 en=英語 cn=中国語簡体字 tw=中国語繁体字 省略時は「ja」適用
			備考:ゲートウェイ方式で消費者向け決済確認メールの文言のみ変更			
14	sicd1	半角英数(1-50)				事前に当社コントロールパネルで登録した商品コード 指定時 <項目17~26>は全て無効
15	siam1	半角数(1-9)		※ 注2		必ず「0」を指定
			備考:商品コード 未指定時必須			
16	sinm1	半角英数(1-50)		※ 注2		決済フォーム、メール、コントロールパネル内決済データ詳細画面 面に出力する商品名 マルチバイト文字(漢字、全角ひらがな、全角カタカナ等)の場合はUTF8でURLエンコードして変換した値を送信
			備考:商品コード 未指定時必須			
17	sisf1	半角数(1-9)		注2		「0」を指定して下さい
18	actp1	半角数(1-2)		※ 注2		商品1に対する自動課金周期: 2=毎週 3=隔週 4=毎月 5=隔月 6=3ヶ月 7=6ヶ月 8=1年 20=日数指定 21=日付指定 22=開始日指定(月周期) 23=開始日指定(日周期) 24=翌月日付指定

			備考：商品コード未指定で、自動課金を行う場合は必須	
19	acdc1	半角数 ⁽¹⁻³⁾	※ 注2	商品1に対する自動課金日付 20=X日周期 21=X日付 22=X日後開始 23=X日周期 24=翌月日付指定
			備考：自動課金周期に「20」「21」「22」「23」「24」指定時必須 但し「0」は指定不可	
20	acmc1	半角数 ⁽¹⁻³⁾	※ 注2	商品1に対する自動課金間隔 21=(指定値)×ヶ月毎 22=(指定値)×ヶ月毎 23=X日後開始 24=(指定値)×ヶ月毎
			備考：自動課金周期に「21」「22」「23」「24」指定時必須	
21	acam1	半角数 ⁽¹⁻⁹⁾	※ 注2	商品1に対する自動課金額
			備考：商品コード未指定で、自動課金を行う場合は必須	
22	acrm1	半角数 ⁽¹⁻³⁾	注2	商品1に対する自動課金回数 ※「0」指定時・省略時=無制限
23	acrt1	半角数字 ⁽¹⁻²⁾	注2	商品1に対する自動課金リトライ回数 未指定時は「3」回
24	acrd1	半角数字 ⁽¹⁻³⁾	注2	商品1に対する自動課金リトライ周期： (指定値)×日 未指定時は以下のデフォルト値 自動課金周期が「2、20、23」=1日、「3」=3日、「それ以外」=7日(毎週同曜日)
25	任意の追加フィールド	半角英数 ⁽¹⁻⁵⁰⁾		任意の値 本ドキュメントに定めのないフィールドのみ有効 複数設定可

<注意>

注1: リンク方式で送信した場合、各パラメータはフォームに入力済みの状態で表示されます。

注2: 商品コード指定時は無効。

注3: トークン方式でこのフィールドに値を送信した場合、以降の自動課金でもその値が利用されますが、取得時に記録した同フィールドの値は更新されません(後日、同トークンでワンタッチ課金をする時取得時のデータが適用)。なお送信した値が一致するか等のチェックもありません。

10章 自動課金情報変更 (CARD CG)

10.1 概要

登録されている自動課金情報を変更する手続きで、方式ごとに手順が異なります。

リンク方式

当社システムから送信されるメールに記載、または加盟店サイトに設置されたハイパーリンクからログイン画面を経由し自動課金情報変更フォームに遷移し、新しいカード情報を入力します。

ゲートウェイ方式

加盟店サイトに設置された自動課金情報変更フォームに新しいカード情報を入力・送信します。

カード情報が通過する必要があるため、PCI DSS準拠環境下でのみ利用可能です。

トークン方式

加盟店サイトに「新しいカード情報をトークン化するフォーム」を設置し、発行されたトークンで自動課金情報のカード情報を置き換えます。

いずれの方式でも、有効期限の前月と当月の2日に当社決済システムから自動課金情報変更フォームのURLを記載したメールを消費者に送信します。

また、事前に設定※を行うことで、課金失敗時にも自動課金情報更新フォームのURLを記載したメールを消費者に送信できます。

※...(設定/各種設定/クレジット設定/動作設定/自動課金失敗時変更URL記載)

10.2 パラメータ

トークン方式の送信先URL: <https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx>

リンク方式、ゲートウェイ方式の送信先URL: <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信

項目	フィールド	文字種(桁)	必須			説明	
1	sid	半角数(6)	●			店舗ID	
2	svid	半角数(1)	●			サービス種別:必ず「1」を指定	
3	ptype	半角数(1)	●	1 トークン 方式	1~2 ゲート ウェイ 方式	3~5 リンク 方式	処理種別:
							1=トークン決済(memberpay.aspxのみ) 1=ゲートウェイ決済 (payment.aspxのみ PCI DSS準拠環境以外では禁止) 2=3Dセキュア認証をするゲートウェイ決済 3=リンク方式 4=リンク方式(3DS) 8=レスポンスフォーム(PC/スマートフォン共用)
4	job	半角英(6)	●	●	●	ジョブ種別:必ず「CARDCG」を指定	
5	rt	半角数(1)			×	処理結果の返信方法 2=レスポンス 2以外指定・省略・リンク方式では返信なし	
6	cmd	半角数(1)	●	●	×	検索条件: 1=発行ID+発行PW 2=初回決済番号+自動課金番号 リンク方式では自動課金番号のみチェック 遷移先で自動課金番号または ID/PWを入力してログイン後に新カード情報を入力して変更 ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります	
7	id	半角英数(1-50)	※	※	×	自動課金登録成功時に発行されたID ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります	
						備考:トークン方式とゲートウェイ方式でcmdが「1」の場合は必須	
8	pw	半角英数(1-50)	※	※	×	自動課金成功時に発行されたパスワード ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります	
						備考:トークン方式とゲートウェイ方式でcmdが「1」の場合は必須	
9	pid	半角数(7-9)	※	※	●	自動課金登録時に発行された決済番号	
						備考:トークン方式とゲートウェイ方式でcmdが「2」の場合は必須	
10	acid	半角数(7-9)	※	※	×	自動課金登録時に発行された、自動課金番号	
						備考:トークン方式とゲートウェイ方式でcmdが「2」の場合は必須	

11	upcmemberid	半角英数 ⁽³²⁾	●	×	×	トークン
12	fn	半角英数 ⁽¹⁻⁵⁰⁾	注1	●	×	新しいカードの所有者名
13	ln	半角英数 ⁽¹⁻⁵⁰⁾	注1	●	×	新しいカードの所有者姓
14	em	半角英数 ⁽¹⁻⁵⁰⁾	注1	●	×	新しいカード所有者のメールアドレス
15	tn	半角英数 ⁽⁸⁻²⁰⁾	注1	●	×	新しいカード所有者の電話番号 ハイフン無し
16	sucd	半角英数 ⁽¹⁻¹⁰⁾	×			事前に当社コントロールパネルで登録した店舗復帰URL コード
17	lang	半角英 ⁽²⁾				処理を行う言語: ja=日本語 en=英語 cn=中国語簡体字 tw=中国語 繁体字 省略時は「ja」を適用 twはptypeが「8」の場合のみ有効
備考:トークン方式とゲートウェイ方式では消費者向けメールの文言を変更						

<注意>

注1: トークン方式でこのフィールドに値を送信した場合、自動課金データの変更を行います。仮売上/仮実同時/有効性
チェック/自動課金登録実施時に登録した会員情報(カード番号・有効期限・カード所有者名など)は変更されま
せん。なお送信した値が一致するか等のチェックもありません。

11章 自動課金情報変更処理後の結果通知

11.1 概要

自動課金情報変更完了時に結果通知します。

この通知はトークン方式またはゲートウェイ方式で「処理結果の通知方式」を「レスポンス」と指定した場合のみ、HTML出力で行います。

11.2 パラメータ

項目	フィールド	文字種(桁)	説明
1	pid	半角数(7-9)	変更処理された自動課金の初回決済番号
2	rst	半角数(1)	処理結果:1=処理成功 2=処理失敗
3	ap	半角数(7)	管理番号
4	ec	半角数(11)	当社決済システムが発行したエラーコード 成功時:ER000000000
5	sod	半角英数(1-50)	成功時は初回決済時にsodで指定した値 失敗時は変更処理時にsodで指定した値
6	ta	半角数(1-9)	決済時に指定した決済金額の合計
7	job	半角数(6)	常に「CARD CG」
8	pod1	半角数(1-9)	初回決済時に商品1に対し当社決済システムが発行した決済側オーダー番号
9	id1	半角英数(0-50)	初回決済時に商品1に対し当社決済システムが発行したID ID/PW発行商品の場合のみ ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
10	pw1	半角英数(0-50)	初回決済時に商品1に対し当社決済システムが発行したパスワード ID/PW発行商品の場合のみ ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
11	acid1	半角数(1-9)	初回決済時に商品1に対し当社決済システムが発行した自動課金番号
12	actp1	半角数(1)	自動課金登録時にactp1で指定した値 成功時のみ

13	acdc1	半角数 (1-3)	自動課金登録時にacdc1で指定した値 成功時のみ 自動課金周期「22」指定時のみ自動課金日の日付を返却
14	acmc1	半角数 (1-3)	自動課金登録時にacmc1で指定した値 成功時のみ
15	acam1	半角数 (1-9)	自動課金登録時にacam1で指定した値 成功時のみ
16	acrm1	半角数 (1-9)	自動課金登録時にacrm1で指定した値 成功時のみ
17	任意の追加 フィールド	半角英数 (1-50)	成功時は初回決済時に任意の追加フィールドで指定した値 失敗時は変更処理時に任意の追加フィールドで指定した値

11.3 サンプル

ゲートウェイ方式で決済結果の返信方法を「レスポンス」に指定した場合は、以下のようなHTML出力を行います。ゲートウェイ用プログラムは、上記を感知した場合に適切な画面遷移を行うよう作成してください。

```
pid=3000059&rst=1&ap=3000059&ec=ER000000000&sod=&ta=&job=CARDCG&pod1=&acid1=000000000&actp1=&acdc1=&acmc1=&acam1=&acrm1=&uniquefield=1234
```

「uniquefield」は任意のフィールド名で指定したフィールド名の例です。

12章 自動課金停止 (ACSTOP)

12.1 概要

登録されている自動課金を停止する手続きです。本ジョブは自動課金情報を検索キーにしています。トークンはカード情報に紐づくものであり、検索キーにはなりません。

リンク方式

当社システムから送信されるメールに記載、または加盟店サイトに設置されたハイパーリンクからログイン画面を経由し自動課金情報停止フォームに遷移し、課金停止処理ボタンを押下します。

ゲートウェイ方式

加盟店サイトに設置されたサーバ間通信を行うプログラムから当社APIへGET/POSTリクエストをすることで停止します。

加盟店サイトに変更のフォームやリンクがない場合でも、事前に設定※を行うことで、毎回の課金時に自動課金停止フォームのURLを記載したメールを消費者に送信できます。

※...(設定/各種設定/クレジット設定/動作設定/自動課金停止URL記載)

コントロールパネルからの手動停止も可能です。

12.2 パラメータ

送信先URL: <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信

項目	フィールド	文字種(桁)	必須	説明
1	sid	半角数(6)	●	店舗ID
2	svid	半角数(1)	●	サービス種別:必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	●	処理種別:

			1 ゲート ウェイ 方式	3-8 リンク 方式	1=ゲートウェイ決済 3=リンク方式 8=レスポンスフォーム(PC/スマートフォン共用)
4	job	半角英(6)	●	●	ジョブ種別 必ず「ACSTOP」を指定
5	rt	半角数(1)		×	決済結果の返信方法:1=キックバック 2=レスポンス ※リンク方式指定時はキックバックのみ。省略時は「1」を適用
6	cmd	半角数(1)	●	×	検索条件:1=発行ID+発行PW 2=初回決済番号+自動課金番号 リンク方式では自動課金番号のみチェック 遷移先で自動課金番号またはID/PWを入力してログイン後にボタン押下して停止 ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
7	id	半角英数(1-50)	※	×	自動課金登録成功時に発行されたID ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
備考: ゲートウェイ方式でcmdが「1」の場合は必須					
8	pw	半角英数(1-50)	※	×	自動課金登録成功時に発行されたパスワード: リンク方式の場合、発行ID+発行PWを指定する事で、検索条件(cmd=1)と同様の動作 ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
備考: ゲートウェイ方式でcmdが「1」の場合は必須					
9	pid	半角数(7-9)	※	※	自動課金登録時に発行された決済番号
備考: ゲートウェイ方式でcmdが「2」の場合、またはリンク方式でID/PWを発行していない場合は必須					
10	acid	半角数(7-9)	※	※	自動課金登録時に発行された、自動課金番号
備考: ゲートウェイ方式でcmdが「2」の場合、またはリンク方式でpidを指定していない場合は必須					
11	sucd	半角英数(1-10)	×		事前に当社コントロールパネルで登録の店舗復帰URLコード
12	lang	半角英(2)	×		処理を行う言語: ja=日本語 en=英語 cn=中国語簡体字 tw=中国語繁体字 省略時は「ja」を適用

13章 自動課金停止処理後の結果通知

13.1 概要

登録されている自動課金の停止処理が行われた次の課金予定日に、加盟店の指定したURL※に通知を行います。

※...(設定/各種設定/クレジット設定/結果通知設定/自動課金停止通知URL)

通知のタイミングは商品登録を行う場合に限り、「即時」を選択出来ます。

13.2 パラメータ

項目	フィールド	文字種(桁)	説明
1	pid	半角数 (7-9)	自動課金登録時に発行された決済番号
2	rst	半角数(1)	処理結果:4=処理成功 2=処理失敗
3	sod	半角英数 (1-50)	成功時は初回決済時にsodで指定した値 失敗時は停止処理時にsodで指定した値
4	acid	半角数 (1-9)	自動課金登録時に当社決済システムが発行した自動課金番号
5	job	半角英(6)	「ACSTOP」を指定
6	id	半角英数 (0-50)	自動課金登録成功時に発行されたID ID/PW発行商品の場合のみ ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
7	pw	半角英数 (0-50)	自動課金登録成功時に発行されたパスワード ID/PW発行商品の場合のみ ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
8	actp	半角数(1)	自動課金登録時にactp1で指定した値 成功時のみ
9	acdc	半角数 (1-3)	自動課金登録時にacdc1で指定した値 成功時のみ 自動課金周期「22」指定時のみ自動課金日の日付を返却
10	acmc	半角数(1-3)	自動課金登録時にacmc1で指定した値 成功時のみ
11	acam	半角数(1-9)	自動課金登録時にacam1で指定した値 成功時のみ

12	acrm	半角数 (1-9)	自動課金登録時にacrm1で指定した値 成功時のみ 回数制限付自動課金の場合のみ
13	sicd	半角英数 (1-50)	自動課金登録時にsicd1で指定した値
14	任意の追加 フィールド	半角英数 (1-50)	成功時は初回決済時に任意の追加フィールドで指定した値 失敗時は変更処理時に任意の追加フィールドで指定した値 本ドキュメントに定めのないフィールド名のみ有効

13.3 サンプル

「リンク方式」指定時、またはゲートウェイ方式で決済結果返信方法を「キックバック」指定時は以下のように当社決済システム内のプログラムファイルがアクセスして通知します。

```
(指定URL)?pid=3000059&rst=4&ap=3000059&sod=&job=ACSTOP&uniquefield=1234
```

「uniquefield」は任意のフィールド名で指定したフィールド名の例です。

ゲートウェイ方式で決済結果の返信方法を「レスポンス」に指定した場合は、以下のようにHTML出力を行います。ゲートウェイ用プログラムは、上記を感知した場合に適切な画面遷移を行うよう作成してください。

```
pid=3000059&rst=4&ap=3000059&sod=&job=ACSTOP&uniquefield=1234
```

「uniquefield」は任意のフィールド名で指定したフィールド名の例です。

13.4 注意点

当社決済システムが決済結果を通知(キックバック)出来た事を当社システムが認識するために、加盟店側の「通知を受け取るプログラム」内に何かしらの出力処理が必要です。(値は不問)

14章 ワンタッチ課金/仮売 (ONETOUCH / ONETOUCHAUTH)

14.1 概要

過去1年以内に行った特定ジョブ(後述)の決済を対象とし、検索キーに該当した最新の決済データで利用されたカードに、再度指定額の決済を行うことができる機能です。

本処理はゲートウェイ方式、またはオプション申込で有効となるコントロールパネルからのCSVアップロード処理で有効です。

どちらで処理した場合も、結果は「18章 決済結果通知」に記載の通り通知します。

トークン方式では、発行するトークンを用いて継続的な課金を行えるため本ジョブは無効です。

14.2 パラメータ

送信先URL: <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信

項目	フィールド	文字種(桁)	必須	説明
1	sid	半角数(6)	●	店舗ID
2	svid	半角数(1)	●	サービス種別 必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	●	処理種別 必ず「1」を指定
4	job	半角英(8-12)	●	ジョブ種別: ONETOUCH=仮実同時 ONETOUCHAUTH=仮売上
5	rt	半角数(1)		決済結果の返信方法: 1=キックバック 2=レスポンス 省略時は「1」を適用
6	cmd	半角数(1)	●	以前の決済を検索する条件: 1=店舗ID+電話番号+店舗オーダー番号

				2=店舗ID+電話番号 3=店舗ID+店舗オーナー番号 4=店舗ID+決済番号 5=店舗ID+決済番号+電話番号
7	tn	半角数(8-20)	※	検索条件とする電話番号 備考: cmdに「1」または「2」または「5」指定時は必須
8	sod	半角英数(0-50)	※	検索条件とする店舗オーナー番号 備考: cmdに「1」または「3」指定時は必須
9	pid	半角数(7-9)	※	検索条件とする決済番号 備考: cmdに「4」または「5」指定時は必須
10	em	半角英数(1-50)		メールアドレス 変更したい場合に指定
11	st	半角数(1)		支払方法: 1=一括 2=分割 4=リボ ※省略時は「1」を適用 省略時は「1」を適用 一部の接続先カード会社では無効 デビットカード及びVプリカ等のプリペイド型カードは、分割・リボ払いが適用されません
12	sc	半角数(1-3)	※	支払い回数 1回・3回・5回・6回・10回・12回・15回・18回・20回・24回 デビットカード及びVプリカ等のプリペイド型カードは、分割・リボ払いが適用されません 未指定時は無効 備考: 支払方法に「2」を指定したゲートウェイ方式では必須
13	sicd1	半角英数(0-50)		事前に当社コントロールパネルで登録した商品コード 指定時 <項目14~23>は全て無効
14	siam1	半角数(1-9)	※ 注1	商品金額 備考: 商品コード1未指定時は必須
15	sinm1	半角英数(1-50)	注1	商品名 決済フォーム、メール、コントロールパネル内決済データ詳細画面で出力 マルチバイト文字(漢字、全角ひらがな、全角カタカナ等)の場合はUTF8でURLエンコードして変換した値を送信
16	sisf1	半角数(1-9)	注1	送料
17	actp1	半角数(1-2)	※ 注1	自動課金周期: 2=毎週 3=隔週 4=毎月 5=隔月

				<p>6=3ヶ月 7=6ヶ月 8=1年 20=日数指定 21=日付指定 22=開始日指定(月周期) 23=開始日指定(日周期) 24=翌月日付指定</p> <p>備考:商品コード未指定で、自動課金を行う場合は必須</p>
18	acdc1	半角数 ⁽¹⁻³⁾	※ 注1	<p>自動課金日付: 20=X日周期 21=X日付 22=X日後開始 23=X日周期 24=翌月日付指定</p> <p>備考:自動課金周期に「20」「21」「22」「23」「24」指定時必須</p>
19	acmc1	半角数 ⁽¹⁻³⁾	※ 注1	<p>自動課金間隔 21=(指定値)×ヶ月毎 22=(指定値)×ヶ月毎 23=X日後開始 24=(指定値)×ヶ月毎</p> <p>備考:自動課金周期に「21」「22」「23」「24」指定時必須</p>
20	acam1	半角数 ⁽¹⁻⁹⁾	※ 注1	<p>自動課金額</p> <p>備考:商品コード未指定で、自動課金を行う場合は必須</p>
21	acrm1	半角数 ⁽¹⁻³⁾	※1	<p>自動課金回数 「0」指定または省略で無制限</p>
22	act1	半角数字 ⁽¹⁻²⁾	※1	<p>商品1に対する自動課金リトライ回数 未指定時は3回</p>
23	acrd1	半角数字 ⁽¹⁻³⁾	※1	<p>商品1に対する自動課金リトライ周期(単位は日数) 未指定時は自動課金周期による以下のデフォルト値:自動課金周期が「2、20、23」の場合 =「1」日、「3」の場合 =「3」日、「月単位」の場合 =「毎週同曜日」</p>
24	lang	半角英 ⁽²⁾		<p>表示言語(メールのみ) ja=日本語 en=英語 cn=中国語簡体字 tw=中国語繁体字 省略時は「ja」適用</p>
25	任意の追加 フィールド	半角英数 ⁽¹⁻⁵⁰⁾		<p>任意の値 本ドキュメントに定めのないフィールドのみ有効 複数設定可</p>

<注意>

注1: 商品コード指定時は無効。

14.3 対象ジョブ

本番モードで成功している以下ジョブの処理レコードが対象です

AUTH CAPTURE SALES(失敗も可) CHECK ONETOUCH ONETOUCHAUTH

ONETOUCHCHG AUTHCANCEL ADDAC ADDAC2 CANCEL

14.4 有効期間

対象の処理レコードから1年間有効

例)2018/02/06 が、最新の決済だった場合

→2019/02/06 有効期間内

→2019/02/07 有効期間外

※うるう年の2/29に決済を行なった場合

例)2016/02/29 が、最新の決済だった場合

→2017/02/28 有効期間内

→2017/03/01 有効期間外

15章 ワンタッチ更新(ONETOUCHCHG)

15.1 概要

過去1年以内に行った特定ジョブ(前章参照)の決済を対象とし、検索キーに該当した最新の決済データに対して新しく課金を伴わないジョブを実行し、カード情報やメールアドレス等の更新を行います。検索用の値は初回の決済時に取得・保持しておいてください。

対象ジョブと有効期間は前章と同様です。本処理はゲートウェイ方式、またはオプション申込で有効となるコントロールパネルからのCSVアップロード処理で有効で、どちらも結果は「18章 決済結果通知」に記載の通り通知します。自動課金のカード情報変更は「10章 自動課金情報変更(CARDCG)」で実行してください。

15.2 パラメータ

トークン方式の送信先URL: <https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx>

リンク方式、ゲートウェイ方式の送信先URL: <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信

項目	フィールド	文字種(桁)	必須			説明
1	sid	半角数(6)	●			店舗ID
2	svid	半角数(1)	●			サービス種別 必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	●			処理種別 1=トークン決済(memberpay.aspxのみ) 1=ゲートウェイ方式 3=リンク方式
			1 ト ー ク ン 方 式	1 ゲ ー ト ウ ェ イ 方 式	3 リ ン ク 方 式	
4	job	半角英(11)	●	●	●	ジョブ種別: ONETOUCHCHG = ワンタッチ更新
5	rt	半角数(1)				決済結果の返信方法

					1=キックバック 2=レスポンス ※リンク方式指定時はキックバックのみ。省略時は「1」を適用	
6	cmd	半角数(2)	●	●	●	以前の決済を検索する条件: 11=店舗ID+電話番号+店舗オーダー番号 12=店舗ID+電話番号 13=店舗ID+店舗オーダー番号 14=店舗ID+決済番号 15=店舗ID+決済番号+電話番号
7	tn	半角英数(8-20)	※	※	※	検索条件とする電話番号 備考:cmdに「11」または「12」または「15」指定時は必須 未指定かつゲートウェイ方式で、更新したい場合に指定
8	sod	半角英数 (0-50)	※	※	※	検索条件とする店舗オーダー番号 備考:cmdに「11」または「13」指定時は必須 未指定かつゲートウェイ方式で、更新したい場合に指定
9	pid	半角数(7-9)	※	※	※	検索条件とする決済番号 備考:cmdに「14」または「15」指定時は必須
10	em	半角英数(1-50)			×	メールアドレス
11	fn	半角数(1-50)	注 1		×	カード会員名
12	ln	半角数(1-50)	注 1		×	カード会員姓
13	upcmemberId	半角英数(32)	●	×	×	トークン
14	任意の追加 フィールド	半角英数(1-50)				任意の値 本ドキュメントに定めのないフィールドのみ有効 複数設定可

<注意>

注1: トークン方式でこのフィールドに値を送信しても無視されます。

<サンプル>

https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx?sid=XXXXXX&svid=1&ptype=1&cmd=11&job=ONETOUCHCHG&rt=2&lang=ja&upcmemberid=xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx&tn=xxxxxxxx&sod=xxx

https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx?sid=XXXXXX&svid=1&ptype=1&cmd=12&job=ONETOUCHCHG&rt=2&lang=ja&upcmemberid=xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx&tn=xxxxxxxx

https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx?sid=XXXXXX&svid=1&ptype=1&cmd=13&job=ONETOUCHCHG&rt=2&lang=ja&upcmemberid=xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx&sod=xxx

https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx?sid=XXXXXX&svid=1&ptype=1&cmd=14&job=ONETOUCHCHG&rt=2&fn=tarou&ln=yamamoto&em=sample@sample.com&lang=ja&upcmemberid=xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxx&pid=xxxxxxx

https://gw.ccps.jp/memberpay.aspx?sid=XXXXXX&svid=1&ptype=1&cmd=15&job=ONETOUCHCHG&rt=2&lang=ja&upcmemberid=xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx&pid=xxxxxxx&tn=xxxxxxxx

16章 取消 (CANCEL)

16.1 概要

仮売上と実売上、仮実同時処理をした決済に対する取消(返金)処理です。

本ページ記載のデータ送信による処理はゲートウェイ方式のみ有効です。

対象は当該決済の全額です。

ゲートウェイ方式のプログラムを作成しない場合は、コントロールパネル(決済情報/決済情報検索/該当の決済番号/決済情報詳細)から「取消処理」ボタンを押下してください。

結果は「7章 決済結果通知」に記載の通り通知します。

16.2 パラメータ

送信先URL: <https://gw.ccps.jp/payment.aspx>

HTTP GETまたはPOST方式で以下を送信

項目	フィールド	文字種(桁)	必須	説明
1	sid	半角数(6)	●	店舗ID
2	svid	半角数(1)	●	サービス種別 必ず「1」を指定
3	ptype	半角数(1)	●	処理種別 必ず「1」を指定
4	job	半角英(5)	●	ジョブ種別 必ず「CANCEL」を指定
5	rt	半角数(1)		決済結果の返信方法 1=キックバック 2=レスポンス ※省略時は「1」を適用
6	pid	半角数(7-9)	●	取消対象の決済番号

17章 決済完了後の転送

17.1 概要

リンク方式では、コントロールパネルで「決済完了後転送先※」を指定した場合に、決済後に消費者をリダイレクトします。

その際には、HTTP GETで以下パラメータを付加します。

ゲートウェイ方式、トークン方式ではリダイレクトは行いません。完了時にはHTML出力を行いますので、それを検知した場合に適切な画面遷移が行われるようコントロールするプログラムを作成してください。

※...(コントロールパネル/設定/各種設定/クレジット設定/PC用[または携帯用]決済フォーム設定/転送先URL)

複数設定し、sucdフィールドの値で振り分けることも可能です。

17.2 転送時に付加するパラメータ

項目	フィールド	文字種(桁)	説明
1	result	半角数(1)	処理結果: 1=処理成功 2=処理失敗
2	pid	半角数(7-9)	決済番号 ※失敗した決済に関しては決済番号は付与されません
3	sod	半角英数(1-50)	店舗オーダー番号 オーダーを識別するために使用
4	任意の追加フィールド	半角英数(1-50)	決済時に指定した値 本ドキュメントに定めのないフィールドのみ有効

17.3 サンプル

消費者がリダイレクトする先のURLは以下の通りです。

ご指定URL)?result=1&pid=0000000&sod=XXXXXXX&uniquefield=1234

「uniquefield」は任意のフィールド名で指定したフィールド名の例です。

17.4 転送時パラメータについての免責事項【重要】

本パラメータ送付を結果の判定に用いると、消費者がURLを確認できるためパラメータ改ざんにより商品やポイントが詐取されるおそれがあります。パラメータ送付は表示コントロールのみに留め、商品送付/サービス提

供可否の判定は次章記載の決済結果通知を参照して行ってください。

当社では商品やポイントの詐取に対する責任は一切負いかねます。

18章 決済結果通知

18.1 概要

キックバック方式の決済結果通知

「リンク方式」指定時、またはゲートウェイ方式で決済結果返信方法を「キックバック」指定時は、決済結果通知URL※に対し、HTTP GET方式で決済結果通知を行います。

※...(設定/各種設定/クレジット設定/結果通知設定/決済結果通知URL[クレジット])

自動課金の初回は都度の決済と同様に扱われ、同様のパラメータを送信します。

自動課金結果通知も同指定先に通知されます。識別は各パラメータのフィールド名や値の有無により行ってください。

自動課金情報変更やワンタッチ決済を行うためには、決済結果通知時のパラメータを保存する必要があります。保存すべき項目は各章を参照してください。

レスポンス方式の決済結果通知

HTML出力により決済結果を通知します。リクエスト送信を行うプログラムファイルにはHTML出力を受けて画面遷移やメッセージ表示のコントロールをする記述をしてください。

18.2 決済結果通知パラメータ

項目	フィールド	文字種(桁)	説明
1	pid	半角数(7-9)	決済番号
2	rst	半角数(1)	処理結果: 1=処理成功 2=処理失敗 13=3-Dセキュア認証待ち
3	ap	半角英数(7)	管理番号 テストモード時は「TestMode」
4	ec	半角数(11)	当社決済システムが発行したエラーコード 成功時:ER000000000
5	sod	半角英数(1-50)	決済時にsodで指定した値

6	ta	半角英数(1-9)	決済時に指定した決済金額の合計 都度の決済または自動課金商品の初回決済時のみ
7	job	半角数(4-12)	処理時に指定したジョブコード
8	pod1	半角数(1-9)	商品1に対し当社決済システムが発行した決済側オーダー番号
9	id1	半角英数(0-50)	商品1に対し当社決済システムが発行したID ID/PW発行商品の場合のみ ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
10	pw1	半角英数(0-50)	商品1に対し当社決済システムが発行したパスワード ID/PW発行商品の場合のみ ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
11	acid1	半角数(1-9)	商品1に対し当社決済システムが発行した自動課金番号
12	actp1	半角数(1)	決済時にactp1で指定した値
13	acdc1	半角数(1-3)	決済時にacdc1で指定した値 自動課金周期「22」指定時のみ自動課金日の日付を返却
14	acmc1	半角数(1-3)	決済時にacmc1で指定した値
15	acam1	半角数(1-9)	決済時にacam1で指定した値
16	acrm1	半角数(1-9)	決済時にacrm1で指定した値
17	3dsRedirect Url	半角英数(1-4096)	3-Dセキュア認証URL
18	任意の追加 フィールド	半角英数(1-50)	任意の値 (本ドキュメントに定めのないフィールド名のみ有効)

18.3 自動課金結果通知パラメータ

項目	フィールド	文字種(桁)	説明
1	pid	半角数(7-9)	自動課金の初回決済番号
2	rst	半角数(1)	処理結果 1=処理成功 2=処理失敗(リトライ無) 3=処理失敗(リトライ有) 4=消費者による自動課金停止 ※「4」の場合のみ別の指定箇所に通知

3	ap	半角英数(7)	管理番号
4	ec	半角数(11)	当社決済システムが発行したエラーコード 成功時:ER000000000
5	sod	半角英数(1-50)	決済時にsodで指定した値
6	job	半角数(4-12)	決済時に指定したジョブコード
7	pod	半角数(1-9)	商品1に対し当社決済システムが発行した決済側オーダー番号
8	id	半角英数(0-50)	商品1に対し当社決済システムが発行したID ※ID/PW発行商品の場合のみ ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
9	pw	半角英数(0-50)	商品1に対し当社決済システムが発行したパスワード ※ID/PW発行商品の場合のみ ※2023年4月にID/PW発行型の商品の作成機能はサービス停止となります
10	sicd	半角英数(0-50)	自動課金登録時にsicd1で指定した値
11	acid	半角数(1-9)	商品1に対し当社決済システムが発行した自動課金番号
12	actp	半角数(1)	自動課金登録時にactp1で指定した値
13	acdc	半角数(1-3)	自動課金登録時にacdc1で指定した値 自動課金周期「22」指定時のみ自動課金日の日付を返却
14	acmc	半角数(1-3)	自動課金登録時にacmc1で指定した値
15	acam	半角数(1-9)	自動課金登録時にacam1で指定した値
16	acrm	半角数(1-9)	自動課金登録時にacrm1で指定した値 自動課金回数の値に「1」以上指定時のみ

18.4 サンプル

「キックバック」指定時

「リンク方式」指定時、またはゲートウェイ方式で決済結果返信方法を「キックバック」指定時は以下のように、当社決済システム内のプログラムファイルがアクセスして通知します。

(ご指定 URL)?pid=3000059&rst=1&ap=3000059&ec=ER000000000&sod=&ta=1500&job=CAPTURE&pod1=1234&


```
uniquefield=1234
```

「uniquefield」は任意のフィールド名で指定したフィールド名の例です。

「レスポンス」指定時

ゲートウェイ方式で決済結果の返信方法を「レスポンス」に指定した場合、以下のようなHTML出力を行います。

```
pid=3000059&rst=1&ap=3000059&ec=ER000000000&sod=&ta=1500&job=CAPTURE&pod1=1234&uniquefield=1234
```

18.5 注意点

当社決済システムが決済結果を通知(キックバック)出来た事を当社システムが認識するために、加盟店側の「通知を受け取るプログラム」内に何かしらの出力処理が必要です。(値は不問)

18.6 保存すべきパラメータ

ID/PWを発行しないタイプの自動課金をゲートウェイ方式で停止する、または加盟店サイトよりリンク方式で処理するためには、初回決済番号を加盟店システム内に保存しておき、リクエスト内容(タグ)に出力する必要があります。

18.7 自動課金停止の通知

自動課金停止(rst=4)の場合のみ、自動課金停止通知URL※に結果を通知致します。

※...(コントロールパネル/設定/各種設定/クレジット設定/結果通知設定/自動課金停止通知URL

18.8 自動課金のリトライ

自動課金登録された決済が失敗した場合、離脱防止のためリトライを行います。

周期と回数は以下の通りです。

【毎週、日数指定、開始日指定(日周期)の自動課金】リトライ周期:1日毎(3回)

【隔週の自動課金】リトライ周期:3日毎(3回)

【毎月、隔月、3ヶ月、6ヶ月、1年、日付指定、開始日指定(月周期)の自動課金】

リトライ周期:7日毎(3回)

結果通知はパラメータ表の通りrst=3が送信されますので、リトライ期間の消費者の扱いを予め定めて運用を開始してください。